

第 2 期津市子ども・子育て支援事業計画について (基本目標・推進施策に反映すべき課題)

令和元年 8 月 2 3 日

津市健康福祉部 子育て推進課

みんなが、子育てしやすい国へ。

すくすくジャパン!



基本目標・推進施策に反映すべき課題（委員意見より）

各委員からいただいた意見		意見への対応(事務局案)
主に基本目標1に関わる内容		
1	推進施策3.の趣旨を具体化したほうが良いと思う。 たとえば・・・「異年齢の子どもがつながり、優しさと信頼を育む」・・・などのように	「優しさや信頼を育むことによる次世代の親の育成」と変更してはどうか。
2	推進施策4.についても丁寧な記述にするとよい。 たとえば・・・「子どもが安心して過すことのできる居場所づくり」・・・のように。	「子どもが安心して過すことのできる居場所づくり」と変更してはどうか。
3	待機児童の解消 子どもをもつ不安、もってからの不安に関して、やはり身近で最も多いのは、希望する保育所に入れるのかという待機児童の問題です。少子化を考慮する必要があるのは理解できますが、この問題が少子化を加速化することがあってはならないし、働き方や支援の多様化にともなって今後も需要が少なくなることは考えにくいと思います。 また子どもを育てにくい地域であると、若い人口が他市町村に流れることも考えられます。	待機児童の解消は当然大きな課題であり、子ども・子育て関連3法の主目的の1つでもありますので、基本目標・推進施策を記載する次の章であらためて記載いたします。
4	保育士、幼稚園教諭、子育て支援者の質の向上、待遇の改善 保育士の離職率が高く、子育て支援センターの職員は、再雇用者が多い状況です。質が保障されていないと感じます。	推進施策(1)の中で検討
5	保育士不足と待遇・体制の改善(保護者だけでなく保育士も) 最近では、保育士不足だけでなく、保育士が虐待するなどの事件も目にするようになりました。その背景には、職場の体制によって過度な負担がかかっていることもあると思います。待遇改善はもちろんのこと、やりがいのある仕事となるためには、職場で自由な意見や発想を出せたり、保護者に仕事の大変さを理解してもらったりする機会があれば良いなと思います。	推進施策(1)の中で検討
6	子どもの育ちに携わる人々の交流・連携による質の向上 幼稚園教諭と保育士の合同研修をはじめ、学生と保育者あるいは園と養成校の交流も、結果として保育士不足の解消につながることから、重要だと実感しています。また、公立と私立、幼稚園と保育所と子ども園、保育園と支援センターなど、それぞれの条件・状況が違うなかで交流しながら、互いに学び合える風通しの良い雰囲気、保育全体の質の向上につなげていくことができればと思います。	推進施策(1)の中で検討

7	<p>重視すべき課題 推進施策2 自己肯定感を育み、生きる力を培う教育の推進 推進施策3 次世代の親の育成</p>	
8	<p>重視すべき課題 推進施策2 自己肯定感を育み、生きる力を培う教育の推進 推進施策4 子どもの居場所づくり</p>	
9	<p>子どもへの視点 親も子どもも「愛されている」充足感や「心のよりどころ」をもてる環境づくり。 子どもの世界の尊重</p>	<p>推進施策(3)の中で検討</p>
10	<p>「生きる力」について 津市の教育ビジョン等、様々な施策との整合性から「生き抜く力」の意味合いが含まれると良いのではないかと思います。 自分本位な行動や考え方を持って生き抜くのではなく、多様な状況や考え方に対してしなやかにつながりあい、対応し合っってその中でぶれない自分自身を持つこと。しなやかさとともに生き抜く力が今後長い見通しの中で子どもたちにとって必要なことではないかと思います</p>	<p>推進施策(3)の中で検討</p>
<p>主に基本目標2に関わる内容</p>		
11	<p>推進施策2、3共に、「支援が・・・への支援」は同じ用語が繰り返されているので良い文になっていない。</p>	<p>推進施策(2) 配慮が必要な子どもへの支援 推進施策(3) 配慮が必要な家庭への支援 としてはどうか。</p>
12	<p>SCカウンセラーの立場上、子育てを取り巻く辛い悩みは『話すことで、辛い思いを離す』です。特に下記3拠点でのカウンセラーの設置を提案。 ① 市内の保育園、幼稚園 ② 近場では、芸濃わんぱくなどの市内の子ども施設 ③ 母子・父子のひとり親、取り巻く祖母・祖父も気楽にお茶を飲みながら悩みを語れる場所(空き店舗の再利用)</p>	<p>推進施策(4)の中で検討</p>

主に基本目標 3 に関わる内容		
13	共働き家族が増加し、家族のあり方が変化してきています。働き方改革推進されることにより、父親の子育て参加が可能になると思われます。 父親への子育て教室、夫婦での子育て教室の開催を増やしていくとよいと思います。	推進施策(2)の中で検討
14	保護者への視点 母親同士・父親同士がつながりやすい環境づくり。 祖父母の育児参加。 父親の育児への興味、関心を高める。	推進施策(2)の中で検討
主に基本目標 4 に関わる内容		
15	子育ては地域社会からシルバー人材の活用と津市の自然を生かす 昔の遊びや(コマ回し、凧揚げ・)、もちつき、地域の伝統文化など、子ども達を巻き込むことで、地域全体で子どもを育てる感覚を再発見、定年後、老後の生きがいにもなり、社会貢献にもなります。 ※津市の自然豊かな特性を活かし、例えば、『蛍の里』『里山・干潟』など、沢山あります。	推進施策(1)の中で検討
16	社会・地域への視点 地域における子育て・子育て支援の課題を理解する。 子育て・子育てを支える地域(社会)の仕組みをつくる。 世代間の交流をはかり支え合う環境づくり。	推進施策(1)の中で検討
17	重視すべき課題 推進施策2 子育て・子育てを支える社会の仕組みづくり	
18	津市から子育て推進モデル企業をPRする。 『子育てに社内理解があり、働きやすい環境は企業の発展につながる』そのためには社内にも子育てに関するカウンセラー、アドバイザーを設置することを提案します。 ※推進基準を設け、企業も社員の子育てを支援することは、社会貢献になり、企業にとっても貴重な人材の宝物磨きになる。	推進施策(2)の中で検討

19	「市民・地域・企業が一つになって」とありますが、企業が子育て・子育て支援に関心をもつことが少ないと感じます。企業も巻き込んで、地域で子育て・子育てしやすい環境をつくる必要があると思います。	推進施策(2)の中で検討
20	子どもを安全に安心して育てられるまちづくり 安全(命が守られてこそ)な環境作り。自分たちの地域ですら(西が丘学区)横断歩道が見えない、歩行者と車道を区切る線がほとんど見えない状態。道路脇の雑草や荒れた空き家も多く、何か事件が起きてもおかしくない。理想論もいいが、まず環境を整えないと、人々の心も荒れるのでは。	推進施策(3)の中で検討
21	経済的問題、精神的問題、若年妊娠など特定妊婦が増えてきています。 虐待予防の観点からも関連機関の顔の見える関係、更なる強固なネットワーク作りが必要です。	推進施策(4)の中で検討